

なんと書いていいのかわからないのですが、感動してたくさん涙が出ました。山田さんの姿を見て、「教えることのできる立場」にある自分が嬉しいというか…うまく書けないのですが、「教師になってよかったな」と感じました。まだまだ無知で、行動範囲もせまく、とても恥ずかしいのですが、これからまだまだ教員生活は長いので、自分の心をまず動かして、それを子どもたちに伝えていきたいなと思います。世の中には、すごい人がたくさんいます。たくさん人に出会って、知りあって、金持ちよりも「人もち」になりたいと思います。本当にありがとうございました。

最初から涙がとまりませんでした。初めて出会った私たちに、「山ちゃん」という人をたくさん教えてくれた嬉しさの涙もあります。

お話の中で心に残った言葉はたくさんありますが、「何か」を感じる授業であってほしい…という言葉は、いつも自信なく、落ち込むことも多い私に自信をつけてくださいました。子どもたちに、「こうあってほしい」・「こんなねらいで」と授業をするのではなく、「何か」でいいんですよね。ちょっと気持ちが楽になりました。

あと、内容とは少し離れますが、山田さんって、とても声が素敵です。人に何かを伝える人は、声も素敵になるんですね！私も美声を目指します。

あと、山ちゃんブログ、見ています。写真も、緑の粹組み（クローバー）も素敵です。これからもいつもチェックします。今日は、少し自信を持って帰られそうです。ありがとうございました。

今日は、お会いできてうれしかったです。私の父も山田さんと同じ病気です。あとどれぐらい生きられるのかわかりません。父がガンになってから、ガンに関するTV番組、本、映画…見たり聞いたりすることができなくなりました。なので、この講演に誘ってもらった時も、どうしようか迷いました。でも、最後まで聴けてよかった。山田さんの言葉から逃げ出さずに、最後まで参加することができてよかったです。

今日で山田さんのお話を聴けたのは2度目です。私は幼稚園に勤めています。日々の子どもちょっとした変化に喜び、悩んでいる毎日です。今日は、私たちのために伝えてくださった「自分を振り返って！」「今を大切にして！」「子どもたちのちょっとした変化を喜んで！」「職場以外のいろんな場に出かけて、いろんな人と出会って、感じた事を子どもたちに伝えて！」というメッセージを心に刻みました。話に来てくださって、本当にありがとうございました。また、お会いしたいです。

山田さんと出会い、私は子どもたちに今まで何を伝えてきたのだろう…何も伝えることができていなかったなあ…と深く反省しました。山田さんがおっしゃったように、これまで受けてきた恩を、子どもたちに返していきたいと思いました。山田さんは、とっても輝

いていて、素敵で、美しい方でした。私も、一步を踏み出せるように頑張ります。
ありがとうございました。

今日は、命について2時間考えることができました。「感じること」。今日、私がもらった言葉です。いつも教えて、指導ばかりしている私。いい子をもとめる私ですが、共に感じる…そんな話や授業がしたいと思いました。「精一杯、生きたい」と思った。ありがとうございました。

今日は実際に山田さんにお会いすることができて、とてもうれしかったです。山田さんの「いのちの授業」を受けた子どもたちはいろんなことを感じて、たくさんアンテナをはりめぐらしている感じがしました。私自身としては、山田さんのお話を聞いて、なんだか、(今すぐ?) 早く家族や友だち、大切な人、子どもたちに会いたいなあと思いました。ありがとうございました。

命は大切。自分の命も友だちの命も大切にしないといけない。
そんな当たり前のこと、いくら口で言っても仕方ない。本当に子どもたちが感じるように伝えていける授業。山田さんの授業を受けた子どもたちは幸せだと思いました。うまく言えませんが、今日、山田さんの講演をお聞きできてよかったです。今日、私が命について感じた事を子どもたちに伝えていきたいです。

今日のお話を聞いて、とてもお勉強をすることができました。今回のお話で、命について考えることができました。また、山田さんが子どもたちに授業を通して伝えていく姿を見て、自分もたくさん勉強になりました。

泉ちゃん。今日また話が聴けてうれしかったよ (なんとって、青年部にまぎれて…)。泉ちゃんのことは、私が出会った子どもたちにこれからもずっと私なりに伝えていこうと思います。泉ちゃんありがとう。

P S 松元ヒロ楽しかったなあ…。名古屋で会えることを楽しみにしています。
気をつけて行ってね

今日、初めてお話を聴かせていただきました。私はまだ、若く、経験も少なく、未熟なので、生徒たちに語れることは少ないと思っていました。でも、お話を聞いて、今の私にできること。今の私が伝えられることを、精一杯伝えていくことが、大切だと思いました。今日、感じたことは、ひと言では言い表せませんが、この気持ちを生徒たちと共有していきたいと思いました。

今日は、ありがとうございました。ウソのない言葉だから、子どもたちにもまっすぐ届くし、自分も精一杯生きられるんだ…と思いました。私も栄養をいっぱい吸収して、毎日、丁寧に過ごして…過ごす？なんかダメですね。生活していきたいです。私も、人の心に自分の日記に、自分の後が残せたらいいなあ…と思いました。のこします！

「いのちの授業」をすることが難しいと思っていました。性授業は、独身だからしにくくという気持ちもありました。でも、自分で体験しないと伝わらないということを再確認しました。自分の教え子にも病気の子がいて、入院しています。小学校低学年に伝えられる授業を考えます。

今日は、本当にありがとうございました。胸がいっぱいになりました。思春期の大事な時に、山田さんに出会えた子どもたちは幸せだな、と思いました。

自分の言葉は、子どもに届いているのか、不安になりました。私にできることは、ちっぽけなことしかないと思いますが、私の授業や、日々接する中で、子どもたちが何か感じてもらえるように、これから子どもたちと過ごしていきたいと思います。自分自身を振り返るきっかけをくださって、ありがとうございました。

私は人の話を聞くのが苦手です。講演会なんて、とても苦手でした。しかし、今日の1時間半は違いました。山さんの本物のことばの一つ一つが心にしみました。本物の体験が心に届きました。人の話を聞いて涙したのも初めてです。今日、山さんの話を聞いて、心が揺れた分、私は頑張らないといけないな、と思いました。いや、頑張ります。いや、頑張れます。今日、山さんから受け取ったバトンを伝えていきます。大切な生徒たちに。

あと、自分のこと、学校でいっぱいいっぱいでした。出会いを大切に、思いやりを大切に、その努力、一人の人間として、していきます。今日は、本当にありがとうございました。お会いでき、お話が聴けたこと、生かします。本も大切にします。

体験することの大きさ、強さというのを先生の話聞いて、勉強できました。また、周りの人の支え、「自分には親友がない」と言った中学生。自分のクラスの子どもたちにも、そんな不安を抱えている子がほとんどの気がします。そんな子どもたちに、人と関わる力をつけていきたいと思っていましたが、この講演で、なんだか少し、ヒントをもらえた気がします。ありがとうございました。

私は中学3年の時、いつも仲の良い友達から無視をされました。学校に行きたくなかったし、一瞬だけでも「死んだ方がまし」と思いました。そんな体験をした私は、大学1年の時に友だちを無視しました。近づいてきたら逃げました。自分がされたことを人にして、その時は何も思いませんでしたが、今日、山田さんの話を聞いて、とても恥ずかしいと思

っています。自分が教師を目指すようになって、このことを自分の中に封印していました。大学の時は、いろんな先生に、「女優になれ！教師は演技が大切だ！」と言われてきました。弱い部分を見せてはいけないと、自分に暗示をかけてきました。でも、その我慢が必要ない時もあることに気づきました。自分の体験を、つらい思いもすべて子どもに話す勇気ももらいました。大学を卒業したばかりで、思い通りにならないことばかりで苦しいですが、まずは自分が一步を踏み出そうと思います。ありがとうございました。

私の思春期も、実家で一緒に住んでいた祖父の死と向き合ったものでした。ビデオで見た彼らと同じ中2の時に、胃がんが発見され1年目で亡くなりました。その時、部活でキャプテンをしていた私は、練習を口実に、祖父の弱くなっていく様子を見たくないと思い、一度も見舞いに行くことなく、過ごしていました。祖父は、また帰ってくると思いながらも、逃げている自分を今となっても恥ずかしく、その行為を悔いています。

それから15年。5年前には、叔父を胃ガンでなくし、一昨年、昨年、母、祖母が相次いで卵巣摘出・乳がんを経験しました。前とは違い、独立した私は、祖父とのことも考え、今現在、家族に対しての「思いやり」を模索している最中です。そして、その祖父とのこと、母や祖母とのことについて、今、子どもたちの前で自分のどうしようもなく情けない部分をさらけ出すことの大切さも感じられるようになりました。家族の病気のことを悩んでいた時に支えてくれた一人に、黒木病院にいた看護師の友人もいます。

祖母は現在91歳です。私は今、講師です。「あんたが受かるまでは死ねんなあ」と言われました。精一杯、教師を目指します。子どもたちに全てをさらけ出し、私も支えられていることを伝えていきます。そして、私も命のバトンタッチの意味を考えつつ、元気になってくれた家族を支え、悔いのないように生きたい！と山田さんのお話で確信しました。試験で疲れているところで、今日、こちらに来てよかった！と思っています。本当に、ありがとうございました。

今日という日。また、新しい出会いをできた日。今までにTVで山ちゃんの特集を何度か拝見しました。番組を知って見たわけではないのに、いつもタイミングよく、私がTVをつけた時に、こんな出会いをTVの中の山ちゃんとしていた私に、今回、山ちゃんと直接会う機会を与えていただいたこの出会いに感謝します。自分自身を振り返ることからはじめよう。私にできる小さなこと、それを私の言葉で伝えたい…そんな気持ちになりました。ビデオの中で、子どもが「感動みたいな…」と言った言葉。「感動した！」という言葉以上に、山ちゃんの言葉が伝わっている子どもの表情。「何かを感じた」それが大事なんだと感ずることができました。私の明日への一步につなげていきます。

今年はいじめてクラス担任をさせていただいています。一学期間過ぎて、自分自身、子ど

もたちと、どう向き合ってきたかな、と考えています。「はじめてだから」「経験が少ないから」と自分の中で理由をつけて、いろんなところで妥協してきた部分もたくさんあります。「私、本気になれていなかった」とあらためて振り返らせていただきました。一日一日をどれくらい大切に思って過ごせるのか、人間＝私は弱いから、くじけてしまうこともあるかもしれませんが、今日、山田さんに出会ったことを機に、もっと考えたいと思いました。今日は本当に、ありがとうございました。

私は以前にも山田さんの講演を聴かせていただいて、本も読ませていただきました。前は、「命」について自分自身が考えさせられ、学びました。今年、新卒で臨時ですが、5年生の担任をしています。友だちを平気で傷つける言葉や行為（ものがなくなったり、勝手に持ち出し移動、壊されたり）が多く、トラブルがたえない事に頭を痛めています。初めてのことばかりなので、失敗ばかりですが、上のようなことが少しでもなくなるように、本気でぶつかり、話をしていきたいと思います。成果は出なくとも感じてもらえるように、自分ができることは全部やりたいと思っています。この1年間のチャンスを大事にして…。本日は、本当にありがとうございました。

「強く感じなければ、それは子どもには伝わらない」その言葉を聞いた時に、ハッとしたものを感じた。今（4月から）、学校をかわって、「うまくいかないな…」と思うことが多々あるが、そう思いながらも急な変化を子どもに強いるあまり、自分が感じることに蓋をしていたのではないかと思う。小さなことを共に喜び、子どもと一緒に成長していける存在でありたいなあ…と思いました。今日は、本当にありがとうございました。

山田さんにずっとお会いしたくて、新聞やテレビで拝見するたびに、どうしたらお話が聞けるかな、と思っていました。今日は、とつても貴重な時間を過ごさせていただき、ありがとうございました。たくさん、心に残る言葉がありますが、一番は「たねをまこう」ということです。たくさんの子どもに出会ってきましたが、何人が、私のことを覚えてくれているかな…と思うことが時々あります。でも、「こんなことを言っていた先生がいたなー」くらいでも、何かひとつ、子どもに残るものを引き継いでいけたらな…と思います。今、教師を続けようか、迷っています。今日のお話を聞いて、もう少し頑張ってみようと思いました。ありがとうございました。

私は、思ったことを言葉でしっかり伝えるのが苦手なのですが、山田さんのお話を聞いて、ただただ涙が出るばかりでした。山田さんの色々なお言葉や思いが、胸に響くばかりでした。私は、もちろん教師という立場でも、山田さんから学んだことを子どもたちに伝えたいと思いましたし、一人の人間として感じたことがありました。今秋に結婚をする人のお母様が山田さんと同じ乳がんを発病され、今も薬を飲まれておられます。一番にその

お母様のことを思い、まだ本当の家族になったわけではないのですが、家族のように心配し、そのお母様を思う気持ちが強くなりました。これからも、お母様との時を大事に過ごしていきたいと思います。本当にありがとうございました。

本を読ませていただいて、一度、お話をお聞きしたくて、今日は連れてきていただきました。感想は、ただただ「ありがとう」の一言です。本当にありがとうございました。

生きていることは素晴らしいです。今日、聞いた話を家族・子どもたち・自分の周りの人たちに伝えたいと思います。自分が死ぬまで伝え続けたいと感じました。

一人から一歩進んでいく勇気をもらうことができました。自分の生き方、考え方など、自分に正直にまっすぐに生きていきます。本当にありがとうございました。

「小さなことを喜びましょう」

という山田さんの言葉を今日から、即実行したいと思いました。そして、小さなことでも伝え合う、報告しあえるような職場になると素敵だなあ…と思いました。ありがとうございました。

今日、山田さんのお話を聴けて、本当によかったです。私は、おとしし体調を崩し、3ヶ月病休をしてしまいました。仕事をしたい気持ちもあり、周りに迷惑をかけたくないという思いから、「休みたくない！」と思っていました。当時の校長に「子どものことはどうにでもなる。あんたの体が一番大切なんや」と言われたとき、胸のつかえがフツととれました。弱い自分を認めることができるようになりました。当時の校長や職員、子どもたちに支えてもらい、本当に感謝の気持ちでいっぱいだったことを思い出しました。あと、しっかり死と向き合うからこそ、生を真剣に全うできるんだと感じました。今日は、ありがとうございました。

今日は、ありがとうございました。子どもは、毎時間毎時間かわるって難しいよな…と思いました。でも、心で感じたことで少しずつ何か変わっていけばいいなと思いました。

教師と違う人と接することの大切さは、常に感じていました。自分に栄養をたくわえていないと子どもに教えるのはできないですね！！

今年から教師をやっています。現場の忙しさにおわれる日々を過ごして、やっと一学期が終わったあ…という感じです。現場に出る前は、子どもとともに動く教師でありたいと思っていたけど、一学期間という時間の中で、自分が「子どもと本当に動いて過ごした時間」というのは、とても少ないなと痛感しています。山田さんのように、まっすぐに子どもと向き合い、育てていける人になりたいと思いました。尊敬をしています。でも、山田

さんをいつか超えてやる一っという気構えをもってやっていきます(笑) (一生、越えられないかもしれませんが)。では、あまり頑張らず、やりたいことをたくさんやって、山田さんらしい生き方をしてください。私も早く、「自分らしい」を持ちたいなあ

心を揺さぶられた講演でした。何度も息がつまりそうになりましたが、思わず涙が出た場面が2つ。1つは、「命のバトンタッチ」と、亡くなったお父さんについて話していた時です。私は、今年34歳になります。独身、ひとり娘です。父母の姿を重ね、私がひとり身であることを、心配してくれています。山田さんは、素敵な愛情深い旦那さん、そして、2人の子どもたち、愛にあふれた家族があり、すべての原動力になっていることと思います。私自身、将来、子どもを産みたいですし、また、目の前の生徒たちが、命のバトンタッチの対象として、もっともっと心を大切にしたい毎日を送りたいと思いました。もう一つは、亡くなる30分前に植田さんがおっしゃった、「死ぬことは、食べることができなくなること…」の言葉です。今できることを精一杯がんばりたいと思いました。私もいずれ、この世に生きてよかったと思える人生を送りたいです。苦しいことをのりこえ、楽しいことを楽しいと感じられる人になりたいです。ありがとうございました。

子どもたちに「感じてほしい」「その授業で自分のことを振り返る時間を持つてほしい」という、授業に向かう山田さんの思いと同じ思いをもって授業していた自分に自信をもって授業したいです。しかし、今の現場、上司は、「それを通しての変容は？何をもって評価するのか？」…。そんな言葉に熱意が弱まってしまっていました。でも、これからは自信をもって、目の前の子どもの顔と本気で授業していくことだけに力を入れていきます。今日は、本もテレビも事前勉強を一つもしていない状態で来てしまいましたが、とにかく、来て、山田さんの生の声を聴けて、本当によかったです。山田さんが常に本気で子どもと向き合っている姿が大好きでしたし、私も「本気」に子どもを愛し、日々、向き合い語りかけていきます。これからは、私がめいっぱい頑張りますね！

山田さんのお話を聞いて、今、自分は目の前にいる子どもたちに100%の本音でぶつかっているのかな、と考えさせられました。私は、自分が3歳のころに、教師だった父を亡くしました。もう会いたくても会えないとか、死んでしまったら終わりなんだということはよく分かっているのですが、そういった命について自分が感じていることを、まだ子どもたちに伝えきれていないなということを今日、すごく感じました。私の気持ちをもっともっと子どもたちに伝えることで、何かを感じてもらえたら…と思いました。山田さん、私たちに話をしてくださって、本当にありがとうございました。

生や死について、本当に私が感じたのは、恥ずかしながら昨年です。弟のつれあいに赤ちゃんができ、当たり前のように元気に生まれてくると思っていたのですが、おなかの中で、短

い命を終えていました。体の力がぬけるというのを、このとき感じ、それから、クラスの子が使っていた「死ぬ」という言葉がたまらなく辛く苦しくなりました。生きる・産まれてくるということが、どんなに尊く素晴らしいことなのか、私は自分の人生を終える時、何を思って死ぬのか考えました。これから、私が自分をさらけ出していくことで、出会う人たちに何かを感じてもらえるようになるのだと思います。「死ぬ」という言葉を使っていた子どもたちに、どう私の言葉が受け入れられるのか…。やっとの思いで、自分の体験を話すことができました。何かを感じてくれたのか、その日から「死ぬ」は聴かれなくなり、嬉しいことに、子どもたち同士が、「それじゃあダメやろ」と言葉をかけあう姿が見られました。本気になる、何かが変わるのですね。

今日、この場で山田さんのお話を聞くことができ、本当によかったと思いました。「会ってしか感じられないことがある」という言葉が心に残りました。私も山田さんと同じ、子どもたちとかかわる教師という仕事をしているので、できるだけたくさんの人と子どもたちを出会わせたいと思いました。そのためには、自分が外に出て、出会わないといけませんね。普段、忙しさを理由になかなか外に出ようとしない自分を改めて反省しました。VTRの中で、「先生の授業をもっと後輩に見せないともったいないよ」という言葉が、とって心に残りました。こんな言葉を言われる様な授業をしていきたいと思いました。山田さんのパワフルさに負けないように、私もこれから頑張っていきたいと思います。今日の出会いに感謝です。ありがとうございました。

今日は、本当にありがとうございました。「いのちの授業」を通して、子どもたちが自分を振り返り、こんな風に生きたい！生きていきたい！とっていて、私は感動しました。人とかかわりを、私自身も大切にしたいと思いました。ふだん、面倒くさいからとか疲れたからとか、自分勝手な考えで友だちの思いを無下にしていなかったか考えました。また、子どもたちに生きることを真剣に考えてほしいし、自分がこれから、教師として何ができるか、考えていきたいです。ありがとうございました。

私も「先生」と呼ばれるのは実はとても苦手なので、最後、「うんうん、わかるわかる」と思って聞いていました(笑) 私は、生徒と話すのがとても好きだし、特に、自分に子どもが生まれてからは、生徒がますます愛しいと感じられるようになりました。だけど、昨年度の管理職から、「甘い」「話を聞くんじゃなく、自分の話を聞かせろ！」といったことを言われ、もしかしたら、これまで自分がやってきたことは間違っていたのだろうか？と悩むことも多かったです。だけど、今日、山田さんの話を聴けて、私は私のやり方で頑張っていこう！と思いました。これからは、仕事も子育ても自分の時間も大切に生きていこう！と頑張っているところです。

学校現場は忙しいですが、自分に栄養を…。いろいろな人と触れ合いたいと思いました。

テレビで見て、とても感動した山田さんに直接会って、話を聞く機会が持てて、とても幸せでした。子どもたちが失いかけている心を私たちが、また育てていかないといけないと強く感じました。いろんな人と出会い、自ら感じ、子どもたちに少しでも多くわけてあげられたらいいなと思います。今の自分に満足することなく、一日一日を大切に、成長していきたいと思っています。ありがとうございました。また、必ず会いたいです。

今日は、お身体のきつい中、ありがとうございました。今日、お会いできたことを大変うれしく思います。つい最近、生協で「いのちの恩返し」を購入し、今日、お話いただいた「バカ・死ね…」というところを生徒に読み聞かせをしました。2学期は、今日、お聞きしたことをさらに生かして、私なりの「いのちの授業」をしていきたいと思っています。本当にありがとうございました。出会えたことに感謝します。

今日、山田さんの講演を聞くことができ、とてもありがたかったです。山田さんが今までに実践してきた授業のように、私も子どもたちが心で感じるような授業を目指して、もっと頑張らなければならないと思いました。子どもたちに伝えるためには、まず自分が真剣に伝えていかないといけない。しかし、自分も考えてみると、死から遠ざかっている生活の中で、子どもたちに伝えようとしても、なかなか伝わらないと思います。死をもっと身近に捉え、考えていくためにも、先生ではない人たちと接する機会を自分で行っていき、子どもたちにも少しでも命の大切さ・重さを伝える授業ができるようになれば…と思います。

「いのちの授業」について、正直あまり予備知識もないまま講演を聴きにきました。ひと言ひと言が本気で、大変貴重な話で、しっかり私の心に伝わりました。感じる事ができました。今日のこの想いを、今日感じた事を、私なりの形にして、生徒ひとりひとりに私の本気の言葉で伝えていけたら…と思います。ありがとうございました。

「教師は自分を語れ」「自分（教師）こそ1番の教材」という言葉を聞いたことがあります。実際、自分が体験したことほど、子どもたちに生き生きと自信をもって話せます。私も、まだまだたくさんは生きていませんが、嬉しかったこと・悔しかったこと・悲しかったこと・辛かったこと…たくさんありました。

今日、山田さんの話を聞いた私のように、私が私を語ることで、子どもたちも思うことがあればいいな、と思いました。

TV・本・授業で、「命を大切に」と学ぶ機会はよくあります。そのたびに、「今、自分

ができることを一所懸命やるべきだ」と思います。しかし、日々過ごしていると、だんだんとそれを忘れてしまう自分がいました。教室で、「めんどくさい」「あー、つまらないなあ」とぼやいている子どもたちを見て、「今を大切にしないとダメだ」と言っている私ですが、私自身を振り返ってみると、その子どもたちと一緒に、だらだら過ごしたり、グチをこぼしたりの毎日だなあ…と思います。

たくさんのことを聞いたのですが、まだ頭の中が整理できていません。でも、子どもたちに本当の言葉で本当のことを伝えていこうと思いました。私自身、いろいろな経験をして、たくさん考えて、子どもたちの前に立っていきたいです。

心に響きました。ずっとお会いしたかったので、今日、山ちゃんのお話を伺えて、本当によかったです。6月の人間ドックで、乳がんの可能性があると診断され、精密検査に行くまで、「死」がとても身近に感じられ、本当に怖かったです。今日のお話を伺って、「いつか、〇〇しよう」ではなく、「今」をきちんと生きていこうと思いました。本当にありがとうございました。

子どもたちへ「生き方」を教える山田さんの素晴らしさに感動しました。私には、難病とたたかう姉がいます。いまだに、両親を困らせる姉。命がまだあるのに、働けないことに苛立ち暴れる姉。薬に苦しむ姉。教員でありながら、姉の姿を見て、「生きる」ということにさめていた私自身。何のために生きるのか…でも、うまく言葉にできないですが、山田さんの話を聞き、私の中で、何かが変わる「心の動き」がありました。姉を受け入れない私。まだまだ自分のことしか考えられない未熟者の私ですが、これから、一生懸命にかわっていきこうと思います。今日は本当にありがとうございました。

私のクラスでも心ない言葉やいたずらがあり、その都度、話し合い、語りこんできたつもりでしたが、それが本当に子どもたちに伝わっているのか、何か変わるのかが目に見えなくて、正直不安でした。でも、語り続けることで、子どもたちが何かを感じてくれていると信じて、これからも子どもたちに真剣に向き合っていこうと思いました。

話し合うことがピンチから抜け出す方法だという言葉に、勇気をもらいました。今、同じ学年部の先生とうまくチームが組めなくて、つらい思いをすることが多かったです。チームを組めば、倍の力が出せる…そのためには、思いを出し合い、話し合うことが必要なんだなあ…と改めて感じました。私も、これから頑張ります。今まで支えてくれた家族や育ててくれた恩師や、素敵な仲間何か借りを返せるように…

今日は、貴重なお時間をいただき、本当にありがとうございました。先生として…という視点よりも、自分自身が周りの仲間、優しくしているようで優しくできていないなあ

…とか、忙しさを言い訳にして心の栄養が入っていないなあ…とか、改めて考えさせられました。夏休みあけて、自分が感じたこと、過ごしたこの時間のこと、子どもたちに伝えたいと思いました。と同時に、自分も生徒から、「もったいない」と言われる様な「本気の授業」「感じてもらえる授業」ができるよう、自分を磨き続けます。本当に出会えて幸せです。ありがとうございました。

今日は、とても実り多い時間を過ごすことができました。人生の先輩として、教師の先輩として、泉さんの姿・言葉から、たくさんのパワーと自分を見直すきっかけをいただきました。子どもたちに、自分の経験を話して聞かせたいと思うことは、たくさんあるのですが、授業として時間がうまくもてないこと・ねらいがもてないこと・そして、子どもが「授業（勉強）とは関係ない話」と、軽く受け流してしまうのではないかという不安…自分の大切な経験であればあるほど、どういうタイミングで子どもの前を出していけばいいのかと思い、話せていないことがあります。この夏休みを利用して、まずは自分を振り返り、今まで私自身が何を感じ、何を体験したのか、もう一度ゆっくり考えてみようと思います。ちなみに、私は3年前、教え子をガンで亡くしました。その子が生きていたということを、今、山田さんが生きているということを、いつかきちんと、子どもたちに話せる教師になりたいと思いました。ありがとうございました。

今日、山田さんにお会いして、どのようなお話を聞けるのか、とても楽しみにしていました。「いろんなことを心で感じる」・「子どもと心で向き合う」・「ひとりでは1倍だけれど」…など、たくさんの言葉が心の中に入ってきました。まだまだ教員として ひよっ子ですが、たくさんの経験、1つひとつの出会い、日々を大切に、たくさんのことを感じながら、これからも過ごしていきたいと思います。うまくまとまりませんが、今日は本当に、ありがとうございました。

慌ただしい毎日の中で、自分自身の生きる意味が分からなくなることがあります。誰にも認めてもらえないかもしれないのに、どうしてこんなに頑張らなきゃいけないんだろう？と、子どもの前に立つ人間として、とても恥ずかしいけれど、本当にそう思うことがあります。今日、山田さんに会って、私がこれまで生かされてきたということを思い出しました。そして、「生きていくということは、誰かに借りをつくり、生きていくということは、その借りを返していくことなんだ」という言葉に、とても心が震えました。今、どういう気持ちなの？と問われても、はっきり「こう！」と説明できないのですが、私も「ひとりから」何かを変える、ほんの少しだけ変えてみたいと思いました。

今日の講演を聞いて、とても複雑な気持ちになりました。1日を悔いの残らないように生きることって難しいって子どもの手紙がありました。私も、毎日悔いなく生きる

れているか自信がありません。でも、今日、山ちゃんの話聞いて、自分のためにも人に対して優しく、そして、人のためにできることを考え、していきたいです。やっぱり、人が笑うと自分も嬉しいとあらためて思いました。今、教職についているので、これから、自分をひらいて、いろいろな人と出会い、子どもたちに伝えていきたいです。書きたいことを書いてしまいました。今日、山ちゃんに出会えた事に感謝です。ありがとうございました。

バトンを受け継ぎました。子どもに真剣に伝えていきたいです。昨年、つれあいが乳がん検診（マーモグラフィ）で再検査となり、「なぜ、あなたが…」と自分のことしか考えない思いや、不安な気持ちから、2人で泣いた事を思い出しました。結果はガンではなかったのですが、その時、感じたこと・考えたこと・思いを忘れず、一瞬一瞬を大切に生きていきます。

山田さんの話を聞いて、とても感動しました。自分がもし、死の直前に立ったら、どういう心境になるんだろうと思いました。ハッとしたのは、自分を振り返ろうとする時間が少なかったなあ…ということです。（ついつい）子どもを変えよう・こうなったらいいな、と相手のことばかりで、自分自身がどうなるだろうという意識があんまりなかったように思いました。本当に心に響いたお話でした。近々、おばあちゃんや両親に会いに行こうと思いました。本当にありがとうございました。

今日はありがとうございました。私が先生になりたいなと思ったのは、私にたくさんの「生きること」を教えてくれた担任の先生がいて、「先生っていい仕事だな」「夢のある仕事だな」と思ったからでした。実際の現場に出ると、そんな時間も気力もねえ。これは時代のせいや、と自分で勝手に思い込み、自分のしたいこと・やりたいことを探すことから逃げていたと思います。山田さんに、今日 出会ったので、私も、私なりの「いのちの授業」（何という名前をつけようか？）を探していきたいと思います。山田さんから受け取ったバトンをしっかり握っていきたいと思います。

青年部ではなく、一般参加させていただきました。泉さんの姿を新聞やTVで観るたび、雲の上の存在のように感じていました。私にはできないことをバリバリやっている。すごい…と、私にはできないと思っていましたが、今日は、これじゃダメだと思いました。泉さんは、子どもたちと常に向き合い、本音で語り、何を伝えたいか、とことん自分で行動して追求していています。それなら、きっと私にもできる。私は、子どもに「ほけんだより」を通じて思いは伝えてきたが、言葉で伝えていかなきゃダメだな。実際、会って体験する・聴く・見るが一番 揺さぶられるということを実感しました。なんとか、夏休み中に自分の今後について真剣に考えてみます。今日は、思い切って来てよかったで

す。泉さん。泉さんを取りまく子どもや仲間のため、これから出会って話を聴くチャンスのある人たちのため、もっともっと命の時間が長く続くように願っています。私も、「ひとりから」頑張ります。

「自分を見つめなおすこと」このメッセージを受け取りました。体の成長と心の成長のバランスが大切だと感じています。一番、体が成長する時期に、心が置き去りになっている子が多くいます。自分が好きなことが見つけれない子にエネルギーにかかわって、いこうと気合いが入りました。今、周りにいる人に支えられ、助けられて教師を続けられています。感謝の心を大切にできることから、できるだけ頑張ります。

「もったいない」。本当に、そう思いました。今までの自分の子どもへの接し方、伝えたいおもい、どれだけ真剣に子どもと向き合ったのだろうと振り返りました。今、感じている・思っているこの気持ちを大切に、早く子どもたちと会い、伝えたいです。ありがとうございました。

2008年7月21日 大分支部青年部一同